

令和7年7月25日

まちづくり委員会資料

請願第28号

希少生物が生息する環境を守り、市民が誇れる緑豊かな等々力緑地の整備を求める請願

建設緑政局

1 請願箇所の概要

- ・等々力緑地は本市のほぼ中央に位置し、JR南武線・横須賀線、東急東横線武蔵小杉駅から約1kmにある本市を代表する総合公園です。
- ・昭和16(1941)年に都市計画決定し、公園施設整備は昭和37(1962)年から行い、現在、都市計画決定区域54.7ha、事業認可区域43.8haとなっています。
- ・緑地内は、運動施設が充実しており、陸上競技場はJリーグ・川崎フロンターレ、とどろきアリーナはBリーグ・川崎ブレイブサンダースの本拠地として利用されるなど、本市を代表するスポーツ拠点となっています。
- ・ふるさとの森、四季園などの自然とふれあえる施設や、釣りなどのレクリエーションができる釣池、イベントの開催も可能な催し物広場など様々な施設を有しています。
- ・一方、施設の老朽化や防災の充実、社会環境の変化への対応、令和元年東日本台風による浸水被害が発生するなど、新たな課題が顕在化してきました。
- ・このため、令和4年2月に等々力緑地再編整備実施計画を改定し、等々力緑地の目指すべき将来像の実現に向け、令和5年4月からPFI法に基づく事業手法を活用し再編整備と管理運営一体の事業を開始し、現在整備に関する設計を進めています。

【案内図】



【等々力緑地の概要】

所在地	: 川崎市中原区等々力1
面積	: 都市計画決定面積 約54.7ha 事業認可区域 約43.8ha 事業認可区域外 約10.9ha
公園種別	: 総合公園
経過	: 昭和16年都市計画決定 昭和37年から公園施設整備を開始
供用面積	: 約36.6ha

2 等々力緑地再編整備計画

(1) 経過

年月日	内容
平成20年10月～平成23年5月	【等々力緑地再編整備実施計画策定まで】 施設の老朽化の伴う課題への対応、広域的なまちづくりと緑地のあり方や、等々力緑地全体の再整備について総合的に検討を進めるため、平成20年10月に「等々力緑地再編整備検討委員会」を組織し、平成21年5月に等々力緑地再編整備方針(以下「整備方針」)を策定した。整備方針に基づき、平成22年2月に「等々力緑地再編整備基本構想」を、平成22年10月に「等々力緑地再編整備基本計画」を策定し、さらに、緑地内の緑と水、安全・安心の場、動線の再整備、緑地へのアクセス改善など、 <u>緑地全体の再整備の方向とともに主要施設の整備の方向と配置、整備手順、スケジュール</u> について、平成23年3月に「 <u>等々力緑地再編整備実施計画</u> 」(以下、「 <u>実施計画</u> 」)としてとりまとめた。
平成27年～令和2年	【実施計画に基づく主要施設の整備】 実施計画に基づき、平成27年度に <u>陸上協競技場メインスタンド</u> 、平成28年度に <u>正面広場</u> 、令和2年度に <u>野球場</u> と主要施設を再整備した。
平成29年	【民間活用による等々力緑地のさらなる魅力向上に向けた取組】 平成29年6月の都市公園法の改正の趣旨を踏まえ、 <u>陸上競技場(サイドバックスタンド)整備</u> や、 <u>公園内施設の一体的・横断的な維持管理・利活用</u> を対象として民間活力の導入を含めて取組の検討を進める。
平成31年2月28日	【PFI法に基づく民間提案】 日本で初めての公園の再編整備事業に関する民間提案として「 <u>等々力緑地再整備・運営等に係る民間提案</u> について」を受ける。
令和2年2月	【等々力緑地再編整備計画推進委員会の設置】 PFI法に基づき民間提案審査部会による審査の結果、等々力緑地再整備を実現するためには、実施計画を改定する必要があること、提案についてさらなる検討が必要であることから、令和2年2月に <u>実施計画の改定作業及び学識経験者や公募市民などにより構成された「等々力緑地再編整備計画推進委員会」</u> を設置し検討を進めた。
令和4年2月	【実施計画の改定】 委員会での検討を踏まえ、令和元年東日本台風による緑地内施設の浸水被害等、緑地内の様々な課題に対応するべく、令和4年2月に <u>実施計画</u> を改定した。

(2) 等々力緑地の目指すべき将来像

等々力緑地の目指すべき将来像

既存計画における整備に向けた5つの方向性

① 魅力を高め人の輪が広がる等々力緑地

② まちづくりとともに歩む等々力緑地

③ いつでも誰でも楽しめる等々力緑地

④ 頼りになる安全・安心な等々力緑地

⑤ みんなで支える等々力緑地

① 誰もが心地よく過ごせる等々力緑地



- 誰もが緑の中で癒され、リラックスしながら自由な時間が過ごせるような広場や散策が楽しめる樹林地、緑と水の風景を眺めながら静かにゆったりと寛げる空間など、公園本来の目的である憩いの場の提供を行います。
- 誰もが分け隔てなくスムーズに等々力緑地へアクセスでき、公園内の安全かつ円滑な歩行者動線等を確保し、施設を快適に利用できる環境を創出します。
- オープンスペースや水辺で、寛ぎながら飲食をしたり買い物ができる空間を創出します。
(施設イメージ) 芝生広場、樹林地、水辺空間、休憩施設(ベンチ、四阿)、飲食店・物販店舗、トイレ、インクルーシブ遊具、センサールーム等

② みどりをつなぎ、活かす等々力緑地



- 地域のみどり拠点である等々力緑地やみどり軸である多摩川、地域のみどりの拠点である神社、仏閣等とみどりの連続性を確保することで、生物多様性の保全や自然環境を創出します。
- 雨水の貯留や浸透、水質改善、ヒートアイランド現象の緩和、延焼防止など、みどりが有する多機能性を最大限発揮します。
(施設イメージ) 樹林地、植栽(外周、園路沿い)、水景施設、親水護岸、釣池、透水性舗装、壁面・屋上緑化等

③ 誰もが成長できる等々力緑地



- 趣味、体験、交流、学び、自己表現、市民活動、働くといった多様なニーズに応える施設や機能を導入し、誰もが成長できる場を創出します。
- 地域の企業や学校等と連携し、最先端の研究、開発、社会実験やアクティビティを実施することで、商品やサービスを公園利用者が体感することのできる機会の提供など、日常的に刺激を受けられる公園づくりを目指します。
(施設イメージ) 屋内遊戯施設、体験型遊具、スケートボード、コワーキングスペース、R&D施設、教育研究施設、宿泊施設等

④ 安全・安心を支える等々力緑地



- 地震、火災、台風、大雨などあらゆる自然災害や感染症などの複合災害を想定し、市民の安全・安心につながる公園を目指します。
- 等々力緑地において防災訓練等を地域と連携して行うことで、地域コミュニティの形成や防災意識の向上を目指します。
(施設イメージ) 雨水貯留機能、盛土、可動堰、宿泊施設、避難場所、防災備蓄倉庫、太陽光発電等

⑤ スポーツがひと・まちを元気にする等々力緑地



- 子どもからシニアまで幅広い層の健康増進やプロスポーツに触れることによる技術向上等が実現できる場づくりを行います。
- プロスポーツを身近に感じ、感動できる観戦環境を提供するとともに、プロスポーツチームと連携した地域の賑わい創出など、スポーツによる地域活性化を推進し、持続可能な公園運営を行います。
(施設イメージ) 陸上競技場、球技専用スタジアム、興行アリーナ、プール、三人制バスケットボールコート、ランニングステーション等

⑥ ひとがつながり、まちとつながる等々力緑地



- 民間事業者との連携によるパークマネジメントの推進や公園内施設の一体管理等により、利用者へのサービス向上や継続的な魅力づくりなど持続可能な運営を行います。
- 地元町会、活動団体、地域の企業、教育機関、商店街、観光協会等の多様な主体が緑地の運営に関わる仕組みをつくることにより、みどりを活かしたまちづくりの取組を進めます。
- 多摩川と一体となる等々力緑地は、地域の歴史的・文化資源であり環境資源となっていることから、資源の魅力を守り・育て、その中で様々な利用や体験の機会を提供することにより、市の顔となる公園をつくり、郷土愛の醸成等につなげます。
(管理運営イメージ) グリーンコミュニティの形成、官民連携手法の導入、利用料金の見直し、イベントの開催等

新たに考慮すべき整備の方向性

① 誰もが利用しやすく使いやすい

② グリーンインフラ

③ 人が集うコンテンツ

④ 時代の変化への対応

⑤ スタジアム・アリーナ改革

⑥ 民との連携によるパークマネジメント

※施設イメージ、管理運営イメージ等は、将来像をわかりやすくするための例示であり、導入を決めたものではありません。

3 等々力緑地再編整備・運営等事業の概要

(1) 事業の概要

- 事業予定地 川崎市中原区等々力1番ほか
- 事業区域面積 約36.6ha（下水処理施設上部区域等、6.9haを追加整備し、43.5haとする予定）
- 事業方式 民間事業者が本施設の設計及び建設を行った後、市に本施設の所有権を移転し、事業期間の終了までの間、本施設の運営及び維持管理を行う方式(BTO方式)、及び本施設の改修を行った後、市に本施設の所有権を移転し、事業期間の終了までの間、本施設の運営及び維持管理を行う方式(R0方式)
- 事業期間 契約締結日から令和35年3月31日まで
- 事業内容 統括管理業務、整備業務、維持管理業務、運営業務、自主事業
- 整備対象施設 球技専用スタジアム、(新)陸上競技場、(新)とどろきアリーナスポーツセンター、プール、ストリートスポーツパーク、アクティビティループ(園路)、キッズパーク(子どもの遊び場)、インクルーシブパーク、芝生広場、親水空間(レインガーデン等)、植栽、駐車場、自由提案施設(飲食、物販等)等

(2) 契約の概要

- 契約の相手方 川崎とどろきパーク株式会社
(等々力緑地再編整備・運営等事業のために設立した特別目的会社)
- ・設立 令和5年1月13日
- ・資本金 2億2,500万円
- ・出資者 東急株式会社、富士通株式会社、丸紅株式会社、オリックス株式会社、株式会社川崎フロンターレ、グローバル・インフラ・マネジメント株式会社、大成建設株式会社、株式会社フジタ、東急建設株式会社
- ・契約の方法 総合評価一般競争入札
- 当初契約金額 63,255,972,382円(消費税及び地方消費税を含む)
- 契約期間 契約締結日～令和35年3月31日

(3) 今後のスケジュール

※今後の検討・調整・工事進捗に伴い、変更となる可能性があります

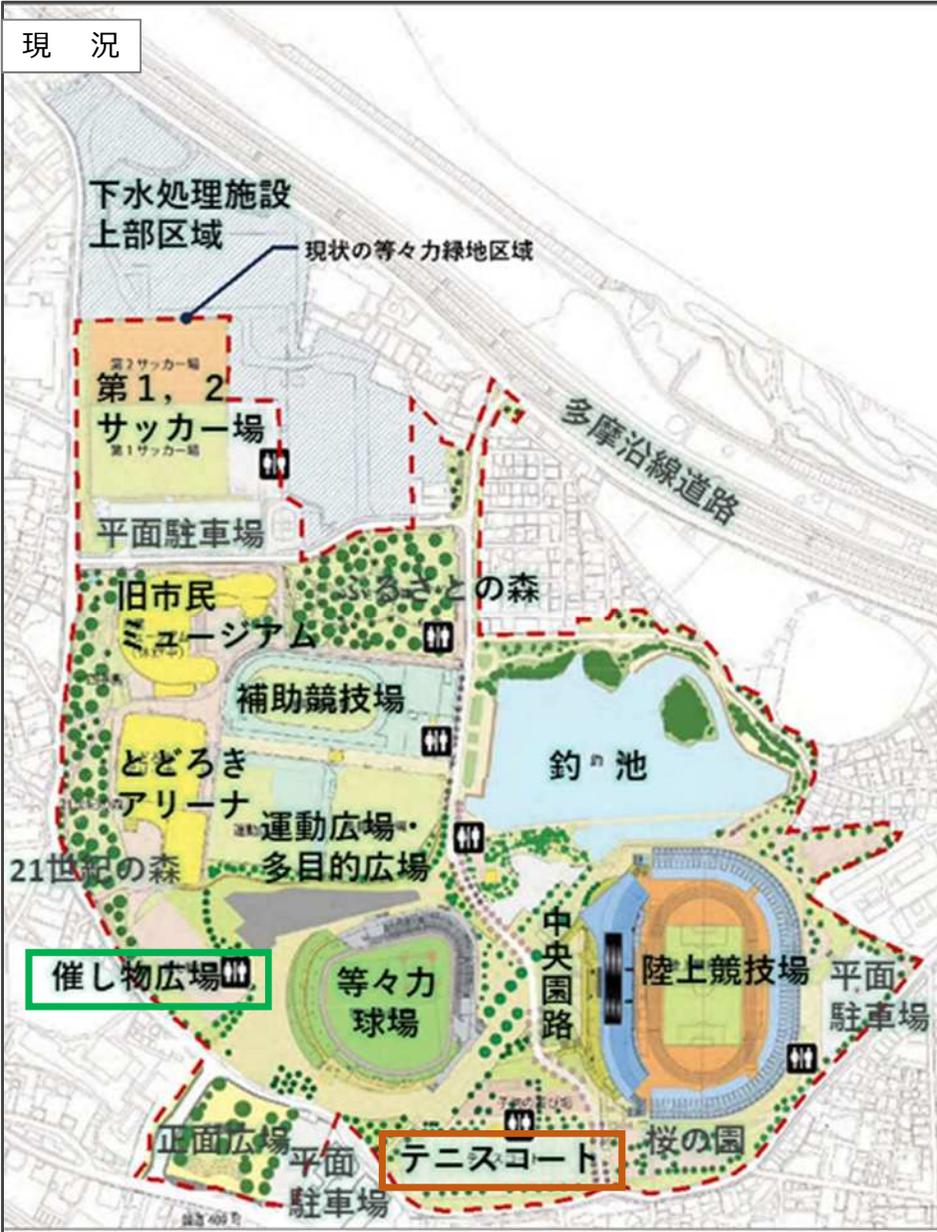
内容 / 年度	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	～	R34 (2052)
環境影響評価手続き	[進捗]								
調査・設計	[進捗]								
整備工事(建築物等)			球技専用スタジアム、(新)とどろきアリーナ、(新)陸上競技場など						
整備工事(公園基盤)			園路整備、広場整備など						
維持管理・運営	指定管理者制度による既存施設の維持管理運営開始(完成した施設から維持管理・運営に移行)								

(4) これまでの取組経過

年月日	内容
R4.3	【等々力緑地再編整備・運営等事業実施方針の公表】 令和4年3月に実施方針を公表し、民間提案の公募を行った。
R5.3.31 ～	【等々力緑地再編整備・運営等事業契約締結、事業開始】 川崎とどろきパーク株式会社と契約を締結。
R5.4	【川崎市環境影響評価に基づく環境配慮計画書の説明会】 令和5年5月13日、15日に再編整備事業に係る環境の保全のために配慮すべき事項の検討結果を説明した。
R5.5	【再編整備事業に係る住民説明会】 令和5年5月2日、3日にオープンハウス型説明会を開催した。
R6.6	【再編整備事業に係る住民説明会】 令和7年6月7日、8日にオープンハウス型説明会を開催した。
R6.9	【基本設計の取りまとめ】 【川崎市環境影響評価に基づく環境影響評価準備書の説明会】 令和6年9月18日、21日に計画概要及び環境影響評価の内容を説明した。
R6.12～ R7.1	【再編整備に関する陳情について】 「令和6年陳情第94号等々力緑地再編整備計画に係る自由提案施設の建設は最小限に留め樹木の伐採は行わず、立体駐車場の建設をやめ、催しもの広場を保全することを求める陳情」を受け、まちづくり委員会で審査した結果不採択となった。
R7.2	【条例環境影響評価準備書等に関する公聴会】 関係住民からの申出に基づき、令和7年2月2日に公聴会を開催した。
R7.3	【環境影響評価審議会開催】 公聴会の結果をもって審議会へ諮問し、令和7年5月7日に答申を得た。
R7.4	【再編整備事業に係る住民説明会】 令和7年4月11日、12日にオープンハウス型説明会を開催した。
R7.7	【条例環境影響評価書の縦覧開始】 川崎市環境影響評価に関する規定に基づき、条例環境影響評価審査書の内容に基づき、準備書の記載事項に検討を加えて作成した条例環境影響評価書を令和7年7月2日から縦覧を開始。

(5) 計画平面図

※今後の調査設計の進捗に伴い、変更となる可能性があります



- 凡例
- : 立体駐車場
 - : 自由提案施設



(新) とどろきアリーナ
スポーツセンター・プール



(新) 陸上競技場



球技専用スタジアム



ゲートプラザ
(正面広場)

※パースは検討イメージであり、大きさ、色や素材などは今後の調整により変更される可能性があります。

4 再編整備における「防災機能」「催し物広場」の考え方

(1) 川崎市地域防災計画（抜粋）

●川崎市地域防災計画上の位置づけ

- 公園緑地は、震災時には、避難場所、避難路、市街地の延焼防止、道路等の復旧に供するオープンスペースとしての機能を持っており、**等々力緑地は地震や火災時の広域避難場所として位置づけられている。**
- 等々力緑地内**各施設は**、ヘリポート・緊急車両の配置や救急医療など救援活動や物資集積等の拠点としても重要な役割を担うことが想定されることから、**広域活動拠点として位置づけられている。**
- 催し物広場は**、現計画では**ヘリコプター臨時離着陸場、消防機関の活動拠点**として位置づけられている。

【現防災計画の位置づけ】

地域防災計画上の位置づけ	場所
広域避難場所(地震・火災)	等々力緑地
遺体安置所	とどろきアリーナ
ヘリコプター臨時離着陸場	補助競技場、多目的広場、催し物広場
自衛隊の活動拠点	多目的広場、陸上競技場
消防機関の活動拠点	催し物広場、テニスコート、等々力球場
ライフライン事業者の活動拠点	会館とどろき、南駐車場
警察の活動拠点	陸上競技場、東駐車場
備蓄倉庫	陸上競技場内、等々力球場内
災害時応急給水拠点	正面広場(会館とどろき横)
救援物資市集積場所	陸上競技場(バックスタンド室内走路) 等々力球場屋内練習場



(2) 等々力緑地再編整備実施計画（抜粋）

●防災機能の強化

- 地域防災計画上の位置づけを継承し、グリーンインフラの活用として**既存の防災機能の維持・拡充を図る。**
- 自然災害を踏まえ、災害廃棄物保管場所や応急仮設住宅の設置など**多様な利用**ができるオープンスペースを確保する。

●公園における防災機能の再整理

- 多様な活用が想定されるオープンスペースを施設の再編に合わせて確保します。
- 緑地外周部は、延焼防止の効果があることから、植栽を充実させます。
- 公園内の施設は、災害時の避難場所等として柔軟に活用することを施設の再編に合わせて位置づけていきます。

●新たな機能の位置づけ

- 雨水貯留機能や、災害時の緊急的な避難機能としての活用を図ります。

【防災計画の新たな機能の位置づけ】

機能	場所
雨水貯留機能	釣池、グラウンド等
災害時の緊急的な避難機能	現陸上競技場メインスタンド 球技専用スタジアムサイドバックスタンド

●催し物広場

- 多様な地域の活動（消防団の訓練活動など）が可能な広場**とすること。ただし、活動の場の一部は、各広場への再編を行うことも可能とする。

(3) 等々力緑地再編整備・運営等事業 要求水準書（抜粋）

●防災機能の強化

- 地域防災計画上の位置づけを継承し、グリーンインフラの活用として**既存の防災機能の維持・拡充を図る。**
- 自然災害を踏まえ、災害廃棄物保管場所や応急仮設住宅の設置など**多様な利用**ができるオープンスペースを確保する。

●公園における防災機能の再整理

- 多様な活用が想定されるオープンスペースを施設の再編に合わせて確保する。
- 緑地外周部は、延焼防止の効果があることから、植栽を充実させる。
- 公園内の施設は、災害時の避難場所等として柔軟に活用することを施設の再編に合わせて位置づける。

●新たな機能の位置づけ

- 雨水貯留機能や、災害時の緊急的な避難機能としての活用を図る。

●催し物広場

- 多様な地域の活動（消防団の訓練活動など）が可能な広場**とすること。ただし、活動の場の一部は、各広場への再編を行うことも可能とする。

5 再編整備における「みどり」の考え方

(1) 等々力緑地再編整備実施計画（抜粋）

●緑地全体の再整備

ア まとまりのある緑の保全

「ふるさとの森」、「21世紀の森」、「四季園」、「釣池」の周辺 など、まとまった緑を保全するとともに、生物多様性に配慮した良好な緑地環境を創出します。

イ 水辺空間の保全とふれあえる場の創出

水辺空間を保全するとともに、水とふれあえる場を創出します。また、水辺や並木の整備により緑地内及び多摩川への動線の魅力を高めます。

ウ 緑のオープンスペースの創出

まとまりある芝生広場の整備を行い、自由に寛ぎ、子どもたちがボール遊びを楽しめ、イベント等を開催できる空間を創出します。

エ 外周の緑の充実

安全・安心な災害時の広域避難場所として、外周の緑の保全と創出を図るとともに、延焼防止に寄与するよう整備を行います。また、外周部の緑を充実することでまちの緑との連続性を確保します。

(2) 等々力緑地再編整備・運営等事業 要求水準書（抜粋）

●広場

（基本的な考え方）

1) 芝生広場、中央広場

・人が集う、賑わう、多様な利用ができる施設としてまとまりのある水辺と一体となったオープンスペースを確保する。

●植栽

（基本的な考え方）

1) 全体

・既存の樹林地、水辺などの自然環境を活かし、緑地全体の植栽計画を立案する。
・植栽計画にあたっては、生物多様性の視点も考慮すること。

2) ふるさとの森

・まとまりのある緑の保全や適切な整備を行うとともに遊び場として活用を図る。

3) 四季園、21世紀の森、桜の園

・緩衝帯として緑の保全と創出を図るとともに適切な整備を行い、外周部の緑の充実を図る。

（施設整備の要求水準）

1) 全体

・川崎市緑化指針に基づき、緑化面積率30%以上を確保すること。
・生育不良や混み合って成長を妨げている植栽については、生育環境に配慮し必要に応じて移植や伐採等の対応を行うこと。

(3) 事業者の植栽計画（案）

等々力緑地再編整備・運営等事業に係る条例環境影響評価書（抜粋）

緑化計画

・再編整備にあたり、計画地内のまとまった緑地と水辺は、可能な限り現位置で保全する方針としました。

・新たに樹林系緑地、芝生等の地被植物を中心とした広場系緑地、水と親しむことができるレインガーデンを整備する計画とし、既に植栽されている樹木の保全に努めるほか、適宜、植樹を行う計画です。

・「川崎市緑化指針」に基づく緑化面積率30%以上を確保する計画です。

環境影響評価

□植物・動物・生態系

■ 環境類型区分図



凡例

環境類型区分

1 樹林地等 2 草地 3 水域等 4 人工構造物等

■ 環境類型区分別の面積変化

環境類型区分	現況の面積(ha)	将来の面積(ha)	増減(ha)
樹林地等	約 6.0	約 6.1	約+0.1
草地	約 2.7	約 2.7	約-0.1
水域等	約 2.9	約 2.8	<-0.1
人工構造物	約 32.0	約 32.0	<+0.1
合計	約 43.7	約 43.7	-

注1) 面積は小数点第2位で四捨五入しています。

注2) 四捨五入の関係で、合計及び増減が合わない場合があります。

6 再編整備における「植栽計画（高木）」の考え方

再編整備におけるみどりの考え方に基づき、高木の植栽計画については、要求水準書で以下のように定めている。

(1) 等々力緑地再編整備・運営等事業 要求水準書（抜粋）

●基本的な考え方

- ・川崎市緑化指針に基づき、緑化面積率30%以上を確保すること。
- ・樹高が10メートル以上の樹木は原則として保全し、緑陰を形成している樹林地を保全すること。
- ・生育不良や混み合っ**て成長を妨げている植栽については、生育環境に配慮し必要に応じて移植や伐採等の対応を行うこと。**
- ・緑陰の中で、快適に散策や休憩ができる場所とすること。

(2) 事業者の高木植栽計画（条例環境影響評価書（抜粋））

事業者による条例環境影響評価書が令和7年7月2日に公告され、現計画における高木の植栽計画、樹木の伐採本数が以下のように示された。

●既存樹木の保全について

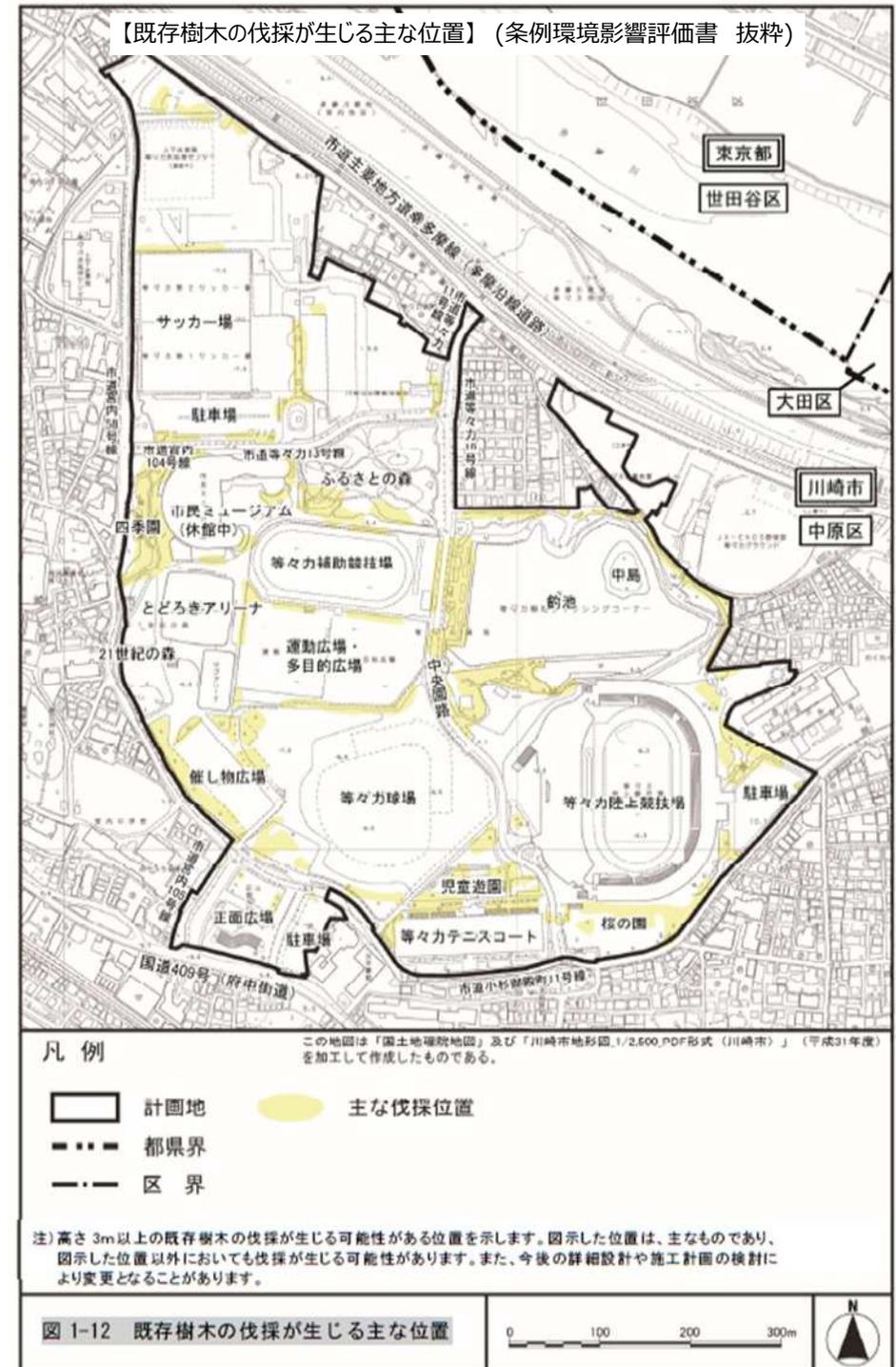
- ・要求水準書における「みどり」の考え方に沿って、**まとまった緑地と水辺は、可能な限り現位置で保全する方針**であるが、公園の魅力向上、公園利用における安全性、利用しやすさ、防災機能の確保、老木の管理などを総合的に勘案し、緑地の再配置も含めて土地利用を検討しており、**既存樹木（高さ3m以上の樹木）990本程度の伐採が生じる見込み**である。

今後の詳細設計や施工計画の検討において、適切な伐採、新植、移植、保存方法を引き続き検討していくとともに、高さ3m以上の樹木については、**伐採が生じた本数以上に新たな樹木（現時点では大景木・高木を約1,800本）を植栽する方針**である。

(3) 植栽計画の今後の見通し

物価高騰の影響など、社会経済状況が変化する中においても、等々力緑地が持続可能で、さらに魅力ある公園緑地でありつづけられるよう、**現在整備内容の見直しを実施している。**

植栽計画については、現時点での**想定として、既存樹木（高さ3m以上の樹木）の伐採本数は、現計画からさらに100本から200本程度減少する可能性**がある。



【再編整備後の樹林地、広場等のイメージパース】



7 再編整備における「整備内容の見直し等」の考え方

等々力緑地再編整備事業については、物価高騰や団体要望、法令対応等により、大幅な増額が見込まれており、本市では、整備内容（要求水準）の見直しと、関係団体要望・法令等への対応の検討を進め、事業費増額幅抑制を図っていくこととしており、以下の対応を考えております。

●整備内容見直し評価一覧

施設名		整備費	評価		取りやめ効果
行政施設整備内容	1 球技専用スタジアム	約 300 億円	B	仕様の見直し等を行いながら整備実施	
	2 (新)陸上競技場	約 50 億円	B	仕様の見直し等を行いながら整備実施	
	3 旧市民ミュージアム解体	約 17 億円	A	計画とおり整備実施	
	4 とどろきアリーナ	約 250 億円 (アリーナ・スポーツセンター・プールを合築) ※現アリーナ解体含む	B	仕様の見直し等を行いながら整備実施	
	5 スポーツセンター		B	仕様の見直し等を行いながら整備実施	
	6 プール		B	仕様の見直し等を行いながら整備実施	
	7 多摩川連絡橋(北側)	約 4 億円	C	整備取りやめ	約 1~4 億円
	8 ビジターセンター <small>多目的広場・釣池管理棟 屋内遊戯施設等を合築</small>	約 4 億円	B	仕様の見直し等を行いながら整備実施	
	9 釣池	約 3 億円	B	仕様の見直し等を行いながら整備実施	
	10 レインガーデン	約 0.8 億円	C	整備取りやめ	約 0.3~0.8 億円
	11 外周園路	約 1 億円	B	仕様の見直し等を行いながら整備実施	
	12 サッカー場 <small>人工芝化・ フェンス設置(コート拡張)</small>	約 1.8 億円	B	仕様の見直し等を行いながら整備実施	
	13 中央新幹線非常口上部区域	約 1 億円	B	仕様の見直し等を行いながら整備実施	
	14 テニスコート <small>観客席増設と屋根設置 コート2面増設</small>	約 1.3 億円	B	仕様の見直し等を行いながら整備実施	
	15 サッカー・テニスコートクラブハウス	約 0.8 億円	B	仕様の見直し等を行いながら整備実施	
	16 ストリートスポーツ広場	約 0.8 億円	B	仕様の見直し等を行いながら整備実施	
	17 立体駐車場(新設)	— (事業者自らの費用負担で整備)	C	立体施設整備取りやめ(平面化)	± 0 円

要望等対応内容		対応額	評価		取りやめ効果
要望等対応	18 球技専用スタジアム 工期短縮	約 38 億円	C	対応取りやめ	約 38 億円
	19 (新)陸上競技場 曲走路半径変更	約 29 億円	B	仕様の見直し等を行いながら対応実施	
	20 とどろきアリーナ リーグ基準対応	約 19 億円	B	仕様の見直し等を行いながら対応実施	
	21 プール 公認取得	約 0.1 億円	B	仕様の見直し等を行いながら対応実施	

8 請願の要旨

請願の主旨

希少生物が生息する環境を守り、市民が誇れる緑豊かな等々力緑地の整備を進めてください。

請願項目

- 1 現在の催し物広場の防災拠点としての機能と、等々力緑地が持つ役割をできるだけ維持してください。
- 2 樹木の伐採を必要最小限とし、希少生物が生息する環境を守ってください。
- 3 既存施設の有効活用により、適正な事業費としてください。

9 請願に対する本市の見解

各請願項目に対する本市の見解につきましては、それぞれ次のとおりです。

- 1 防災機能につきましては、川崎市地域防災計画上、等々力緑地は、地震や火災時の広域避難場所として、また、各施設は、広域活動拠点として位置づけられております。再編整備におきましては、地域防災計画上の位置づけを継承し、さらに雨水貯留機能や災害時の緊急的な避難機能など、新たな防災機能を位置づけ、グリーンインフラの活用として既存の防災機能の維持・拡充を図り、再編整備に併せて各施設に防災機能を位置づけるとともに、多様な利用ができるオープンスペースを確保することとしております。
催し物広場につきましては、既存施設と同等程度の規模で緑地北側に再整備いたしますが、現催し物広場のヘリコプター臨時離着陸場、消防機関の活動拠点として位置づけは、再編整備におきまして、新たに整備する催し物広場のほか、等々力球場、芝生広場等の各公園施設に位置付けるとともに、消防団の訓練活動など多様な地域の活動が可能な広場としてまいります。
- 2 緑の保全につきましては、再編整備にあたり、まとまった緑地と水辺は、可能な限り現位置で保全するとともに、生物多様性に配慮した良好な緑地環境を創出する方針でございます。現在、公園の魅力向上、公園利用における安全性、利用しやすさ、防災機能の確保、老木の管理などを総合的に勘案し、緑地の再配置も含めて土地利用を検討しており、高さ3m以上の既存樹木990本程度の伐採が生じる見込みでございますが、伐採が生じた本数以上に新たな樹木約1,800本を植栽する計画でございます。
また、物価高騰の影響など、社会経済状況が変化する中においても、等々力緑地が持続可能で、さらに魅力ある公園緑地でありつづけられるよう、現在整備内容の見直しを実施しており、現時点での想定として、高さ3m以上の既存樹木の伐採本数は、現計画からさらに100本から200本程度減少する可能性がございます。引き続き、適切な伐採、新植、移植、保存方法について、事業者と協議・調整してまいります。
- 3 等々力緑地再編整備の事業費につきましては、物価高騰や団体要望、法令対応等により、大幅な増額が見込まれており、現在、整備内容の見直しと関係団体要望・法令等への対応検討を進めており、多摩川連絡橋（北側）や外周園路などの既存施設の有効活用のほか、施設の整備の取りやめ、団体要望対応の見送りにより、事業費の増額抑制を図るとともに、整備を進める施設につきましても、今後、仕様の見直し等による事業費抑制を検討することとしております。また、整備費につきましては、官積算による金額精査も進めているところでございまして、引き続き、事業費の抑制と精査に向けた取組を進めてまいります。